

## 第4回東京イミグレーション・フォーラム 丸山長官御挨拶

- 皆様、出入国在留管理庁長官の丸山秀治です。第4回東京イミグレーション・フォーラムに参加いただいた全ての皆様に心より歓迎いたします。
- ここ東京において、多くの国・地域における入管当局及び国際機関の皆様にお集まりいただき、直接お会いできることを、大変嬉しく思います。
- 国際情勢が緊張の度を高める中、入管当局が抱える課題に迅速かつ的確に対応していくためには、私たちが相互に緊密に連携していくことが不可欠です。
- もとより、相互理解や価値観の共有は一朝一夕にできるものではなく、それぞれの国・地域の制度、社会状況、文化、歴史等への理解を深め、お互いの立場を尊重し合いながら、対話を続けることが重要です。
- 毎年開催している本フォーラムは、そのような継続的な対話の場を提供し、次世代も見据えた連携構築に資するものです。さらに、対話を通じて、各国における諸課題の解決に向けたヒントが見いだされることも期待されます。

- それでは、これから始まる本フォーラムの概要を、簡単に紹介いたします。
- まず、このあと行われる基調講演では、エイミー・ポープ IOM事務局長よりビデオメッセージをいただきます。
- 次に、本日の全体会合は、「最近導入した出入国在留管理上の施策」をテーマにしたプレゼンテーションを各参加者から行っていただきます。このプレゼンテーションを基に、明日は参加者全員で、諸課題の解決に向けて更なる経験の共有や議論をすることになります。
- さらに明日は、「アジア太平洋地域における難民保護」及び「アジア太平洋地域における外国人労働者の受入れ促進に係る取組」をテーマに2つの分科会が行われます。
- そのほか、UNHCRルヴェン・メニクディウエラ高等弁務官補から講演をいただきます。
- そして最終日の午前中には、羽田空港の見学ツアー及び「偽変造対策セミナー」を用意しており、日本が

行っている水際対策の取組や最近の偽変造旅券のトレンド、鑑識手法等について紹介いたします。

- 最後に、この3日間が、皆様にとって有意義かつ実り多い時間となることを祈念して、私の挨拶といたします。ありがとうございました。